

第20回サン・スーシ オリエンテーリング大会

今回は平塚市総合公園でのパークO！ スコアOも盛況

佐々木 順

2歳から87歳まで

さる10月15日、第20回サン・スーシオリエンテーリング大会が平塚市総合公園で行われた。午後は多少の雨がかったものの競技中は晴れ、2歳の幼児連れの家族から87歳のお年寄りまで、約200名の参加者があった。



うーん、よくわかんないよう

競技形式は、午前中はオリエンテーリング経験者対象のポイントオリエンテーリングと初心者対象のスコアオリエンテーリング。午後は経験者も入って一斉にスコアオリエンテーリング（内容は午前中と同じ）となった。初心者のスコアが40分の制限時間であるのに対し、経験者は25分とすることでバランスを取っている。

初めてオリエンテーリングを体験するには、安全回路完備で短時間で切り上げられるパークオリエンテーリングは最適な教材である。ここでは、初めてオリエンテーリングを体験した方々の声をレポートする。



すっかりピクニックモード？の八尋さん（右端）ら

友人同士、いろいろな形で

初めてオリエンテーリングに参加する人で、一番多いパターンは「オリエンティアである会社の友人や遊び仲間連れられて」というものだろう。

八尋弓枝さんは、友人3人を連れて登場。なんと自身がヨーロッパ遠征の時に仕入れてきたオリエンテーリングウェアを友人のひとりに着せてしまう熱の入れようである。午前中のスコアOを歩きながら楽しみ、混合一般クラスで3位入賞。

山本英勝さんは、会社関係の友人を数多く誘って登場。助っ人に、同じクラブの先輩で、日本を代表するエリートオリエンティアである鹿島田浩二さんまで駆り出した。ふたりはいつもの大会で見せる真剣さとは全く無縁のほのぼのモードでスコアOを存分に堪能、混合一般で1位・2位に入って賞品をゲット。

年輩の方の組み合わせも見られた。地元の告知を見て事前申し込みをしたという青木昌子さんらのグループは、50歳以上女性の部で優勝。「やっぱり一番って気持ちいいわね」とは速報板を見ての感想。オリエンテーリングが男女年齢別にクラス分けされ、それぞれのレベルでレースを楽しめることを実証した格好になった。



ゴール後ホッと一息。青木昌子さん（左）のグループ

家族で楽しむ秋の休日

宮川達哉・祐子夫妻の愛娘・早穂ちゃんは今回のパークOに一人で挑戦。午前中は思うように回れずがっかり。でも午後は全部のポストを回って小学生女子クラスで優勝、ガッツポーズ。さすがはエリートオリエンティアの両親に生まれた子どものスピリットなのか？

一家でオリエンテーリングに初挑戦の大内豊さん一家は、親子二組に分かれてスタート。お父さんと娘さんのペアが家族組の3位に入った。「小学校低学年でも十分参加できるので家族で楽しめました」との感想。



一家で公園の休日を堪能，大内豊さん一家

夫婦と一緒にオリエンテーリングに取り組む姿も見られた。武田光さんは、オリエンテーリングは初めてという奥さんとともにスコア0を楽しんだ。決して運動に適した格好というわけではなかったが、歩いて公園を回って「たくさんポイントが見つかって面白かった」と初体験の感想を語った。亭主としては、これでオリエンテーリングに対する理解を得られたと胸をなで下ろしているところ。なのかどうかはわからないが（笑）。

変わったところでは、夫が運営者・妻が参加者というケースも見られた。尾上秀雄さんの奥さんである尾上静子さんは、初めて一人でのオリエンテーリングに挑戦。最初は気楽に歩いて回るつもりだったはずが、回りに刺激されてか公園内を走る。初めに見えていたポイントを目指して行ってみたら全く違う数字に頭の中は真っ白だったという。他の家族連れの後をついて行ってやっと「ここだ」という安心感。その後は最近始めたジョギングのお陰で他チームの子どもと抜きつ抜かれつのデッドヒートを繰り返しながためてたくゴール。



ゴール直後にご機嫌！の武田光さん夫妻

効果は高し，機会提供頻度が課題

その他、参加者から得られたアンケートによると、大会の感想として「短時間のレースなので2つのOLを楽しめるのは良いと思う」「参加費、交通費ともに安く、気軽に参加できたので良かった」「9/23 横浜 OL で初体験。今回2回目ですが前回より楽々完走できました」など挙げられた。

午前・午後の2レースという形態は、午前中はグループで楽しみ、午後は自分で走るなどの楽しみ方を提供で

き、両方とも出た人に対しては好評だった。

オリエンテーリングに限ったことではないが、新しい遊びを楽しみたいというときには、その遊びが本格的かどうかとか、頂点の世界を見せて刺激できるかどうかということよりも「とにかく気軽に体験してもらう」ということが重要である。特に山に入ることが必要なオリエンテーリングでは、子供連れの家族では心配して二の足を踏むことが予想されるだけに、このような気軽な体験機会提供の意義は大きい。

今後の課題として挙げられるのは、今回オリエンテーリングの世界を初めて体験してもらった人々をどのようにして引きつけ続けるかであろう。今回のアンケートでは、課題として「もう2つ、3つくらい公園マップを開発してほしい」という回答が散見された。サン・スーシとしては、今回の平塚以外にも定期的に公園オリエンテーリングを楽しめるマップ開発が議題にのぼっているが、それでも単独のクラブでは継続的な開催に限界があるのも事実である。



しっかりパンチ！楽しんでくれたかなあ？

そこで解決策になるのが、複数クラブによるシリーズ化の流れである。今回のサン・スーシの大会は、9月23日に行われた横浜OLCパーク0とともに「パーク0ツアール in 神奈川」というタイトルのもとに行われたが、それぞれがこの名前をかぶせているだけで、実際の運営は全く別個のふたつの大会という位置づけだった。

初心者グループを継続的に会場に呼ぶため、そして一般オリエンティアに対しても魅力的な大会にするためには、複数の大会で順位が付く方式や、複数の大会を一度にエントリーして参加料も抑えるなどの工夫が必要と思われる。埼玉県などでは行われている方式であるが、これを神奈川をはじめとして東京、千葉で行うというアイデアもあるだろう。

関東とか日本とか、大きな単位にする必要はない。手ごろな地域内で継続的に大会機会を確保することで、特に初心者層にオリエンテーリングの楽しみ方が定着するのではないかと考える。（サン・スーシ）

【お知らせ】

本ページ収録の写真のほかにも、大会当日に撮影した写真が以下のURLにて公開されています。

<http://www3.plala.or.jp/junkun/magazine/hiratu/>